

科目名	食品流通論 Food Distribution	担当者	カイ サトシ 甲斐 諭		所属	学年	期別	必選	単位
					B	2	後学期	選択	2
1. 到達目標及びテーマ 世界と我が国の食料経済、特に食料の生産・加工・流通・貿易が理解できるようにする。  食料価格の変動要因を知り、価格乱高下の要因は食料の供給不安定性と需要の価格弾性値が小さいことにあることを理解する。  生鮮食料品である青果物、鮮魚、食肉の主要流通経路と卸売市場の構造・機能および農産物直売所の存立理由を理解する。  食料貿易の光と影を理解する。									
2. 授業概要 資料、統計、写真を画像で示し、授業内容が視覚的にも理解できるようにする。  世界と日本の食品の流通が理解できるようにする。  貿易理論、需要の価格弾力性や所得弾力性等の経済学理論を用いて講義する。									
3. 授業計画									
1	授業の目的と概要の説明。世界の人口、飢餓人口、食料価格の変動の実態	9	卸売市場の構造と3つの種類						
2	世界の農産物貿易と食料事情の動向	10	卸売市場の機能と役割						
3	世界の食料需給変動要因の複雑化	11	福岡県・福岡市の卸売市場と関係者						
4	需要曲線と供給曲線および均衡価格	12	市場経由率の低下と卸売市場取扱金額の減少						
5	需要の価格弾力性・交差弾力性・所得弾力性	13	卸売市場の今後の課題と農産物直売所の存立理由						
6	卸売業の2つの存立原理と機能	14	食料貿易の光と影～TPPとFTA～						
7	卸売市場創設の背景としての米騒動と中央卸売市場の理念と内容	15	総復習						
8	卸売市場制度の変遷～中央卸売市場法から卸売市場法へ～	16							
4. 評価方法 授業態度、発表内容、試験を総合して評価する。									
5. テキスト及び参考書 甲斐諭『食農資源の経済分析』農林統計協会、2008年。  農林水産省『食料・農業・農村白書』農林統計協会、各年。									
6. 他の科目との関連									
必ず履修しておく科目	特になし								
履修しておいた方が望ましい科目	経済学								
上記以外の関連する科目	卸売マネジメント								
7. 事前学習・事後学習 予習、復習を重視し、復習による反省と予習による挑戦を指導する。									

8 . その他

世界の食料事情、貿易交渉などのニュースに関心を持って授業に出席してほしい。